様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第１回安城警察署協議会
日時・場所	令和７年３月６日（木）午後２時 40 分から午後５時 20 分まで 安城警察署３階講堂
出　席　者	１　委員９名（定数 12 名） 加藤 領助 会長　山田 彩織 副会長　山田 哲夫 委員 佐藤 佑衣 委員　柴橋 邦彦 委員　鈴木　一 委員 宗　保 委員　江田タケシ委員　中川 友里 委員
	２　警察署員　10　名 松田署長　白川副署長　竹内捜査指導官 渡辺警務課長　手塚会計課長　水野生活安全課長 南地域課長　片岡刑事課長　古川交通課長 村松警備課長
	３　有識者等 なし

１　委嘱状の交付

署長から再任及び新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。

２　新規委員挨拶

３　会長及び副会長の選出

委員の互選により、加藤領助委員を会長に選出し、会長は、山田彩織委員を副会長に指名した。

４　会長及び副会長挨拶

５　署長挨拶

６　幹部紹介

７　報告内容

(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）

(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）

(3) 前回の意見・要望に対する具体的施策の推進状況（交通課長説明）

ア　前回の協議事項

自転車の交通事故抑止対策

イ　前回の意見・要望

・　周知　各種媒体、機会を通じての事故抑止に対する働き掛け

・　教育　体験型や実践型による法令や基本ルールの教育
・　取締り　自転車の交通違反の取締り

ウ　施策推進状況

・　電光掲示板によるタイムリーな広報メッセージを発信した。
・　Ｘを利用し交通安全教室の内容を配信した。
・　年末の交通安全県民運動期間中に交通少年団が街頭で交通安全を呼び掛けた。
・　高齢者を対象に自転車シミュレーターや交通事故体感ＶＲを活用し交通安全教育を実施した。
・　外国人向けの交通安全講話を実施した。
・　朝の通学時間帯に交通違反の取締りを実施した。

８　協議事項

業務改善方策

９　発言の要旨

・　警察業務が多岐にわたり大変忙しいので、業務委託できるものについては民間に委託すれば良いのではないか。
・　24 時間勤務後に残業するのは大変なので、報告や引継ぎが速やかにできる体制や定時に帰ることのできる取組をした方がよい。
・　上司から労いの言葉を掛けられるとモチベーションがあがる。
・　狭くて暗いなど勤務環境が悪いので施設改修をしてあげて欲しい。
・　一人が業務を請け負うのでなく、チームで請け負う体制を作ってほしい。
・　日本の文化では、残業することが美徳という風潮が少なからずあるので、日本以外の働く文化にも目を向けるのも良いのではないか。

10　意見・要望

・　工夫を凝らした残業を減らす取組み
・　上司から部下へ感謝する場面の創出（モチベーションの向上）
・　業務を担当者任せにしない取組み
・　海外を含めた他組織の業務改善の紹介

11　その他

(1) 速度取締指針の説明
交通課長から、速度取締指針の説明があった。

(2) 警察官採用試験に関する告知
警務課長から、令和７年第１回警察官採用試験に関する告知を実施した。

(3) 会議中、警察署施設案内と各課長による業務説明を実施した。

(4) 会議中、令和６年中の安城警察署の活動実績動画を上映した。

(5) 次回開催予定
令和７年５月下旬から６月上旬ころ

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。